



2024年6月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月9日

上場会社名 澁谷工業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 6340 URL <https://www.shibuya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澁谷 英利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 河村 孝志

TEL 076-262-1201

定時株主総会開催予定日 2024年9月27日

配当支払開始予定日

2024年9月30日

有価証券報告書提出予定日 2024年9月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期の連結業績(2023年7月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	115,434	18.0	13,382	66.5	13,559	65.9	9,781	65.0
2023年6月期	97,842	1.7	8,039	40.0	8,171	40.4	5,928	36.0

(注) 包括利益 2024年6月期 12,786百万円 (91.1%) 2023年6月期 6,692百万円 (34.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年6月期	353.54		10.2	8.9	11.6
2023年6月期	214.29		6.8	5.8	8.2

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	161,903	101,029	62.4	3,651.38
2023年6月期	142,426	90,180	63.3	3,259.24

(参考) 自己資本 2024年6月期 101,021百万円 2023年6月期 90,173百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年6月期	10,432	3,447	3,044	46,894
2023年6月期	4,854	5,328	1,215	42,660

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年6月期		30.00		40.00	70.00	1,936	32.7	2.2
2024年6月期		30.00		60.00	90.00	2,490	25.5	2.6
2025年6月期(予想)		45.00		45.00	90.00		27.1	

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日～2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	127,000	10.0	12,600	5.8	12,800	5.6	9,200	5.9	332.53

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期	28,149,877 株	2023年6月期	28,149,877 株
期末自己株式数	2024年6月期	483,078 株	2023年6月期	482,801 株
期中平均株式数	2024年6月期	27,666,927 株	2023年6月期	27,667,150 株

(参考) 個別業績の概要

2024年6月期の個別業績(2023年7月1日～2024年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	82,633	18.2	9,579	91.0	10,143	82.6	7,475	84.3
2023年6月期	69,898	9.4	5,015	40.6	5,554	42.1	4,056	57.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期	270.19	
2023年6月期	146.63	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	130,080	81,324	62.5	2,939.43
2023年6月期	116,586	75,485	64.7	2,728.36

(参考) 自己資本 2024年6月期 81,324百万円 2023年6月期 75,485百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。よって、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	17
(1) 受注の状況	17
(2) 役員の変動	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による各種規制が緩和され、インバウンド需要の回復などにより国内景気は緩やかな回復が見られるものの、原材料価格・エネルギーコストの高止まりや海外経済の成長鈍化に加えて、本年1月1日に発生した令和6年能登半島地震の影響など、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループの連結売上高は1,154億34百万円（前期比18.0%増）となり、損益面については、全てのセグメントで増益となったことから、営業利益は133億82百万円（前期比66.5%増）、経常利益は135億59百万円（前期比65.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は97億81百万円（前期比65.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[セグメント別の売上高]

(単位：百万円)

セグメントの名称	前連結会計年度	当連結会計年度	対前年比
			%
パッケージングプラント事業	57,410	66,007	+15.0
（酒類用プラント）	(2,351)	(2,592)	(+10.3)
（食品用プラント）	(37,121)	(49,531)	(+33.4)
（薬品・化粧品用プラント）	(15,301)	(11,219)	(△26.7)
（その他）	(2,635)	(2,664)	(+1.1)
メカトロシステム事業	30,550	36,993	+21.1
農業用設備事業	9,881	12,432	+25.8
合 計	97,842	115,434	+18.0

(パッケージングプラント事業)

パッケージングプラント事業の売上高は、薬品・化粧品用プラントは注射薬バイアル充填ラインや柔軟剤などのトイレタリー製品用充填ラインが減少したものの、食品用プラントは国内向け調味料用充填ラインならびに国内および海外向け飲料用無菌充填ラインが増加したことから、前連結会計年度に比べ増加しました。

その結果、売上高は660億7百万円（前期比15.0%増）となり、損益面については、①プラントに占める他社製品の割合が減少し原価率が低下したこと、②客先の新製品に対応する改造工事が増加したこと、また③社内プロジェクトによる一段のコスト削減効果が発現した結果、営業利益は108億30百万円（前期比51.1%増）となりました。

(メカトロシステム事業)

メカトロシステム事業の売上高は、切断加工機は金属加工業界における国内需要の低迷により減少したものの、半導体製造装置は前期に大きく落ち込んだ中国向けがやや回復したことから微増となり、医療機器は欧州、北米、インドなど海外向けが好調で大きく増加したことから、前連結会計年度に比べ増加しました。

その結果、売上高は369億93百万円（前期比21.1%増）、営業利益は32億53百万円（前期比69.4%増）となりました。

(農業用設備事業)

農業用設備事業の売上高は、野菜類向け選果選別プラントが増加したことから、前連結会計年度に比べ増加しました。

その結果、売上高は124億32百万円（前期比25.8%増）、営業利益は15億5百万円（前期比61.2%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産については、主として現金及び預金が42億49百万円、売上債権および契約資産が93億71百万円、退職給付に係る資産が22億32百万円増加したことから、前連結会計年度末に比べ194億76百万円増加し1,619億3百万円となりました。

負債については、主として支払手形及び買掛金が48億25百万円、長期借入金が9億7百万円、退職給付に係る負債が7億73百万円減少したものの、契約負債が116億69百万円、未払法人税等が28億45百万円増加したことから、前連結会計年度末に比べ86億27百万円増加し608億73百万円となりました。

純資産については、主として親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が78億44百万円増加し、また退職給付に係る調整累計額が22億42百万円増加したことから、前連結会計年度末に比べ108億49百万円増加し1,010億29百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,854	10,432	5,577
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,328	△3,447	1,880
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,215	△3,044	△4,259
現金及び現金同等物の期末残高	42,660	46,894	4,234

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、104億32百万円の資金増加（前期は48億54百万円の資金増加）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が137億85百万円となり、売上債権及び契約資産の増加額90億72百万円、棚卸資産の増加額12億30百万円、仕入債務の減少額40億71百万円、前渡金の増加額13億90百万円および法人税等の支払額14億48百万円による資金減少があったものの、契約負債の増加額115億9百万円および非資金項目である減価償却費29億35百万円による資金増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、34億47百万円の資金減少（前期は53億28百万円の資金減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出32億83百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、30億44百万円の資金減少（前期は12億15百万円の資金増加）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出10億99百万円および配当金の支払額19億35百万円によるものであります。

これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末より42億34百万円増加し468億94百万円（前期比9.9%増）となりました。

(ご参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年6月期	2022年6月期	2023年6月期	2024年6月期
自己資本比率 (%)	58.1	62.4	63.3	62.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	64.9	47.3	51.1	61.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.3	0.2	1.2	0.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	476.8	661.5	147.3	278.7

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

- ※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
- ※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
- ※ 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内景気はインバウンド消費の拡大やAIの普及に伴う半導体需要の回復などのプラス要因がある一方、原材料価格・エネルギーコストの増加、日本銀行の追加利上げなど、先行き不透明な状況が続くものと見込まれます。世界経済においても、中国経済の停滞、米国景気の先行き懸念、ウクライナ情勢や中東情勢などの地政学リスク、更に米国大統領選挙の影響など、将来予測が困難な状況が続くものと見込まれます。

このような状況のなか、次期のパッケージングプラント事業の売上高は、国内および海外向け飲料用無菌充填ラインや注射薬バイアル充填ラインが既に多くの受注残を抱えていることから、増加を見込んでおります。

メカトロシステム事業の売上高は、半導体製造装置がAIの普及に伴う需要の拡大が期待できることから、増加を見込んでおります。

農業用設備事業の売上高は、「産地生産基盤パワーアップ事業」および「強い農業づくり総合支援交付金」等の補助事業が継続され、選果選別プラントへの投資が引き続き堅調に推移するものの、増加幅は小幅に留まると見込んでおります。

以上により、次期の連結業績予想は、売上高は1,270億円（当期比10.0%増）と増収を見込んでいるものの、損益面においては、①人的投資およびDX推進により固定費が増加すること、②素材・エネルギー価格を中心としたインフレにより原材料価格が上昇すること、③パッケージングプラント事業において、プラントに占める他社製品の割合が増加し、原価率が高まると見込まれることから、営業利益は126億円（当期比5.8%減）、経常利益は128億円（当期比5.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は92億円（当期比5.9%減）と減益を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益配分につきましては、当社の基本的な考えは将来の収益向上と成長投資のために健全な財務体質を維持し、また株主へも安定的な配当を実施すること、そして1株当たり利益の長期・持続的な向上をとおして株主還元を行う方針であります。

当期の期末配当金につきましては、前期に比べ20円増配の1株あたり90円を予定しております。既に中間配当として1株あたり30円を実施しておりますので、期末配当は1株あたり60円を第76回定時株主総会に付議する予定であります。

なお、次期の年間配当金につきましては、1株あたり90円（中間配当金45円、期末配当金45円）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,946	47,196
受取手形	1,003	1,248
電子記録債権	8,649	12,802
売掛金	14,570	16,872
契約資産	12,283	14,956
製品	444	362
仕掛品	9,226	10,115
原材料及び貯蔵品	4,665	5,271
その他	2,019	3,866
貸倒引当金	△3	△22
流動資産合計	95,806	112,668
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,042	20,001
機械装置及び運搬具（純額）	2,996	2,639
土地	12,141	13,229
建設仮勘定	1,261	2,538
その他（純額）	1,568	1,434
有形固定資産合計	39,010	39,843
無形固定資産		
その他	473	551
無形固定資産合計	473	551
投資その他の資産		
投資有価証券	2,516	3,087
退職給付に係る資産	2,944	5,176
繰延税金資産	1,183	126
その他	540	479
貸倒引当金	△49	△30
投資その他の資産合計	7,135	8,840
固定資産合計	46,619	49,234
資産合計	142,426	161,903

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,642	17,817
電子記録債務	2,450	3,311
短期借入金	1,099	907
未払法人税等	449	3,294
未払費用	5,427	5,993
契約負債	6,512	18,181
賞与引当金	442	459
受注損失引当金	157	61
製品保証引当金	53	49
災害損失引当金	—	116
その他	1,628	1,225
流動負債合計	40,864	51,418
固定負債		
長期借入金	4,604	3,696
退職給付に係る負債	6,290	5,516
役員退職慰労引当金	318	166
繰延税金負債	64	11
その他	104	63
固定負債合計	11,381	9,455
負債合計	52,246	60,873
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,392	11,392
資本剰余金	10,350	10,350
利益剰余金	67,451	75,296
自己株式	△440	△441
株主資本合計	88,753	96,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	787	1,090
為替換算調整勘定	840	1,299
退職給付に係る調整累計額	△208	2,034
その他の包括利益累計額合計	1,419	4,424
非支配株主持分	6	7
純資産合計	90,180	101,029
負債純資産合計	142,426	161,903

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
売上高	97,842	115,434
売上原価	79,641	91,356
売上総利益	18,201	24,077
販売費及び一般管理費	10,161	10,695
営業利益	8,039	13,382
営業外収益		
受取利息	15	23
受取配当金	58	62
為替差益	—	1
スクラップ売却益	37	63
その他	137	119
営業外収益合計	249	271
営業外費用		
支払利息	37	36
租税公課	13	26
為替差損	59	—
保険解約損	—	11
その他	7	20
営業外費用合計	118	94
経常利益	8,171	13,559
特別利益		
固定資産売却益	4	5
投資有価証券売却益	11	46
施設利用権売却益	4	—
補助金収入	—	339
負ののれん発生益	—	16
特別利益合計	20	409
特別損失		
固定資産売却損	—	11
固定資産処分損	3	13
損害賠償金	25	—
災害による損失	—	42
災害損失引当金繰入額	—	116
特別損失合計	28	183
税金等調整前当期純利益	8,163	13,785
法人税、住民税及び事業税	2,355	4,180
法人税等調整額	△122	△176
法人税等合計	2,233	4,003
当期純利益	5,929	9,781
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益	5,928	9,781

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
当期純利益	5,929	9,781
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	284	303
為替換算調整勘定	193	458
退職給付に係る調整額	285	2,242
その他の包括利益合計	762	3,004
包括利益	6,692	12,786
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,691	12,785
非支配株主に係る包括利益	0	1

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	11,392	10,350	63,459	△440	84,762
当期変動額					
剰余金の配当			△1,936		△1,936
親会社株主に帰属する 当期純利益			5,928		5,928
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	3,992	△0	3,991
当期末残高	11,392	10,350	67,451	△440	88,753

	その他の包括利益累計額				非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	502	647	△493	657	6	85,425
当期変動額						
剰余金の配当						△1,936
親会社株主に帰属する 当期純利益						5,928
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	284	192	285	762	0	762
当期変動額合計	284	192	285	762	0	4,754
当期末残高	787	840	△208	1,419	6	90,180

当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	11,392	10,350	67,451	△440	88,753
当期変動額					
剰余金の配当			△1,936		△1,936
親会社株主に帰属する 当期純利益			9,781		9,781
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	7,844	△0	7,843
当期末残高	11,392	10,350	75,296	△441	96,597

	その他の包括利益累計額				非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	787	840	△208	1,419	6	90,180
当期変動額						
剰余金の配当						△1,936
親会社株主に帰属する 当期純利益						9,781
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	303	458	2,242	3,004	0	3,005
当期変動額合計	303	458	2,242	3,004	0	10,849
当期末残高	1,090	1,299	2,034	4,424	7	101,029

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	8,163	13,785
減価償却費	3,145	2,935
のれん償却額	0	—
負ののれん発生益	—	△16
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	29	△193
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△8	402
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△90	△152
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	17	17
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11	13
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	102	△96
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	—	116
受取利息及び受取配当金	△74	△86
支払利息	37	36
補助金収入	—	△339
投資有価証券売却損益 (△は益)	△11	△46
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△2,197	△9,072
契約負債の増減額 (△は減少)	△2,112	11,509
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,070	△1,230
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,788	△4,071
前渡金の増減額 (△は増加)	143	△1,390
未払又は未収消費税等の増減額	1,157	△774
その他	6	483
小計	9,037	11,829
利息及び配当金の受取額	72	88
利息の支払額	△32	△37
法人税等の支払額	△4,222	△1,448
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,854	10,432
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△331	△430
定期預金の払戻による収入	337	430
投資有価証券の取得による支出	△0	△101
投資有価証券の売却による収入	19	65
有形固定資産の取得による支出	△5,886	△3,283
有形固定資産の売却による収入	710	15
無形固定資産の取得による支出	△153	△283
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△269
補助金の受取額	—	339
その他	△23	70
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,328	△3,447
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	4,100	—
長期借入金の返済による支出	△928	△1,099
配当金の支払額	△1,935	△1,935
その他	△20	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,215	△3,044
現金及び現金同等物に係る換算差額	126	294
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	868	4,234
現金及び現金同等物の期首残高	41,792	42,660
現金及び現金同等物の期末残高	42,660	46,894

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品の販売、生産体制やサービスの類似性を基準とした事業部門を設置しており、各事業部門は包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業部門を基礎としたセグメントから構成されており、「パッケージングプラント事業」、「メカトロシステム事業」および「農業用設備事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

セグメントの名称	主要製品
パッケージングプラント事業	ボトリングシステム（充填システム、キャッピングシステム、ラベリングシステムなど）、製函・包装システム、製薬設備システム（医薬品製造システム、アイソレータなど）、食品加工システム、洗浄設備システム、再生医療システム（細胞培養アイソレータ、ロボット自動細胞培養システムなど）など
メカトロシステム事業	半導体製造システム（ハンダボールマウンタ、ワイヤボンダ、LED検査装置など）、医療機器（レーザ手術および治療装置、人工透析装置など）、切断加工システム（レーザ加工機、ウォータージェット切断加工機など）、超音波発生装置、油圧プレス機など
農業用設備事業	農業用選果・選別システムなど

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であり、セグメント間の内部売上高および振替高は市場実勢価格等に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2022年7月1日 至 2023年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上 額(注) 2
	パッケージ ングプラ ント事業	メカトロ システム 事業	農業用設備 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	57,410	30,550	9,881	97,842	—	97,842
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,365	554	592	2,513	△2,513	—
計	58,776	31,105	10,474	100,356	△2,513	97,842
セグメント利益	7,166	1,920	933	10,021	△1,981	8,039
セグメント資産	57,427	32,879	10,404	100,711	41,714	142,426
その他の項目						
減価償却費	1,977	920	150	3,048	93	3,142
のれんの償却額	—	0	—	0	—	0
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	4,923	645	203	5,772	51	5,824

(注) 1. 調整額の内容は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,981百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,967百万円および棚卸資産等の調整額△14百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額41,714百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産41,759百万円および棚卸資産等の調整額△44百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金（現金及び預金、投資有価証券）および管理部門に係る資産であります。
 - (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業損益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上 額(注) 2
	パッケージ ングプラ ント事業	メカトロ ンシステ ム事業	農業用設備 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	66,007	36,993	12,432	115,434	—	115,434
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,056	877	660	2,593	△2,593	—
計	67,064	37,870	13,092	118,028	△2,593	115,434
セグメント利益	10,830	3,253	1,505	15,588	△2,206	13,382
セグメント資産	66,413	40,733	13,586	120,732	41,170	161,903
その他の項目						
減価償却費	1,931	748	156	2,835	95	2,930
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	893	670	2,052	3,617	142	3,759

(注) 1. 調整額の内容は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△2,206百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,173百万円および棚卸資産等の調整額△33百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額41,170百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産41,248百万円および棚卸資産等の調整額△78百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金（現金及び預金、投資有価証券）および管理部門に係る資産であります。
 - (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業損益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	アジア	北米	その他	合計
65,696	9,994	13,035	4,776	4,340	97,842

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称または氏名	売上高	関連するセグメント名
ニプロ株式会社	15,029	メカトロシステム事業および パッケージングプラント事業

当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	アジア	北米	その他	合計
71,103	14,032	15,067	9,556	5,674	115,434

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称または氏名	売上高	関連するセグメント名
ニプロ株式会社	20,905	メカトロシステム事業および パッケージングプラント事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年7月1日 至 2023年6月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年7月1日 至 2023年6月30日）

のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

なお、のれんの未償却残高はありません。

当連結会計年度（自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年7月1日 至 2023年6月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）

「メカトロシステム事業」において、綜和機電株式会社を新たに連結子会社としたことにより、負ののれん発生益16百万円を計上しております。

なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)		当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	
1株当たり純資産額	3,259円24銭	1株当たり純資産額	3,651円38銭
1株当たり当期純利益	214円29銭	1株当たり当期純利益	353円54銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
純資産の部の合計額	90,180百万円	101,029百万円
純資産の部の合計額から控除する金額 (うち非支配株主持分)	6百万円 (6百万円)	7百万円 (7百万円)
普通株式に係る期末の純資産額	90,173百万円	101,021百万円
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数	27,667千株	27,666千株

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益	5,928百万円	9,781百万円
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	5,928百万円	9,781百万円
普通株式の期中平均株式数	27,667千株	27,666千株
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第五回信託型ライツ・プラン新株予約権(50,000千株)は、2022年9月30日をもって権利行使期間満了により失効しております。	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 受注の状況

① セグメント別の受注高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前連結会計年度	当連結会計年度	対前年比
			%
パッケージングプラント事業	79,483	82,769	+4.1
(酒類用プラント)	(2,708)	(3,370)	(+24.4)
(食品用プラント)	(55,600)	(63,000)	(+13.3)
(薬品・化粧品用プラント)	(18,393)	(14,006)	(△23.8)
(その他)	(2,781)	(2,392)	(△14.0)
メカトロシステム事業	29,821	39,838	+33.6
農業用設備事業	12,740	10,504	△17.6
合 計	122,045	133,113	+9.1

② セグメント別の受注残高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前連結会計年度	当連結会計年度	対前年比
			%
パッケージングプラント事業	62,894	79,656	+26.7
(酒類用プラント)	(1,877)	(2,655)	(+41.4)
(食品用プラント)	(41,587)	(55,056)	(+32.4)
(薬品・化粧品用プラント)	(18,364)	(21,152)	(+15.2)
(その他)	(1,064)	(792)	(△25.6)
メカトロシステム事業	9,629	12,473	+29.5
農業用設備事業	11,626	9,698	△16.6
合 計	84,150	101,829	+21.0

(2) 役員の変動

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

(1) 新任取締役候補

大 砂 雅 子 社外取締役

(2) 異動予定日 (定時株主総会開催予定日)

2024年9月27日